

日野町監査委員告示第15号

地方自治法第199条第1項および第2項に基づき、令和5年度に実施した定期監査結果を別紙のとおり公表する。

令和5年12月1日

日野町代表監査委員 東 源一郎

定期監査結果

1. 監査日時および
監査場所 令和5年9月22日（金）午前8時57分～午前10時00分
日野町役場 4階 第1委員会室
2. 実施監査委員 東 源一郎 ・ 川東 昭男
3. 監査対象機関 学校教育課
4. 監査対象
主たる監査事項 学校教育課の分掌する事務全般についておよび次の事項について
○不登校の現状と課題、対応について
5. 監査手続 令和5年度監査計画に基づき資料の提出を求め、所属長および担当者から説明を受け、質疑応答を交え実施した。
6. 監査の結果 当町の不登校の状況については、不登校児童・生徒の在籍率が増加傾向にあり、かつ、全国・県の在籍率を上回っている。学習や対人、学校生活など不登校の要因は様々であると考えられるが、子の成長の違いを理解した適切なかかわりによる支援の必要性を痛感する。現在、教育委員会では包括的生徒指導（マルチレベルアプローチ）の手法を参考に取り入れ、「だれもが行きたくなる学校づくり」を取組まれている。学習指導に加えて子どもたちの心理的・社会的発達を促すことに比重を置いた手法であり、視察した先進地では成果も見られているとの話であった。当町でもこの取組による成果を期待したい。
また、学校に行くことが難しい場合、フリースクールに通う選択も見られる。フリースクールは学習活動や体験活動などを行っている民間団体であるが、子どもにとって自信を持ち社会性を身に着ける大切な居場所であり、同時に義務教育を支援する場でもあると考える。町行政、また、地域の協力・連携も図りながら子どもの成長を支えられるようお願いしたい。
子どもは次世代を担う「日野のたから」であり、健やかな成長に向けた見守り、支援を学校、地域、関係機関が連携して取り組まれることに引き続き努められたい。